

令和 4 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立田島南小学校

令和 4 年 4 月 22 日

大阪市立田島南小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

田島小学校と生野南小学校の2校が統合され、田島中学校の敷地に田島南小学校として開校され、小中一貫校としてスタートした。

スローガン「I'll get my dream. We'll support your dream. ～つかめ 自分の夢 ささえよう みんなの夢～」のもと3つの柱「言語力の育成」「性・生教育」「キャリア教育」を軸に学校づくりが始まる。

小中一貫校準備委員会で計画したことを踏まえ、課題を1つ1つ解消しながら、新しい学校を作っていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 毎年度末の校内調査における不登校の児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査における前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。
- 令和7年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度より6%増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を50%以上にする。
- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合の指標として、年度末の校内調査における「(平日)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を令和7年度調査において、85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、80%以上にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- 令和7年度末の校内調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、75%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。
- 年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合の指標として、年度末の校内調査における「（平日）毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、80%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、75%以上にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

#### 学校園の年度目標

- 年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立田島南小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標 (小・中学校)</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケート (年 3 回) および相談申告機能を、1 人 1 台学習者用端末を活用して実施する。</li> <li>・区役所、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談センター等のいずれかの関係諸機関との連携を週 1 回以上行う。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>「生きる教育」を関連諸機関との連携し、性と生を考える取組みを推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きる教育」の学習を全学年で実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>インターネット、SNS 等を適切に利活用することについて主体的に学ぶ取組を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、出前授業を実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>芸術鑑賞を通して、豊かな情操や感性を養う。</p> <hr/>	

指標 ・事後アンケートにおいて、鑑賞行事について肯定的に回答する生徒の割合を 90% 以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

## 大阪市立田島南小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標 (小・中学校)</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 30%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語 (英語) の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○規則正しい生活を身に付けている児童の割合の指標として、年度末の校内調査における「(平日) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を、80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック化による学校支援事業および区の校長戦略支援予算を活用し、漢検を全学年で実施する。</li> <li>・ブロック化による学校支援事業を活用し、5 年生でリーディングスキルテストを実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「がんばる先生支援 (グループ研究 A)」を活用して、対話力を育てる「国語科教育」の推進を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「相手の気持ちを考えて話を聞くことができる」の肯定的回答の数値を 80%以上にする。</li> <li>・「授業中自分の考えをよく発表している」の肯定的回答の数値を 60%以上とする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>中学校教員による理数教育を推進する。</p>	

指標	
・ 6 年生算数の授業（週 3 時間）および、小学校 5 年生理科の授業（週 3 時間）で 中学校の教員との授業づくりを行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	



## 大阪市立田島南小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・中学校)</b></p> <p>○年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、75%以上にする。</p> <p>○ゆとりの日については、週1回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館を拠点に、学校全体で読書環境の整備・充実を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み、放課後は、毎日図書館開館するとともに、玄関ホールに図書スペースを設ける。</li> <li>・ブックトラックを活用して、学級や校内の図書スペースの本の入れ替えを行い、読書に親しむ環境を作る。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>1人1台学習者用端末を活用し、家庭学習の推進および表現力を養う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学級で1人1台学習者用端末を活用し、デジタルドリルや課題に取り組む。</li> <li>・高学年で、1人1台学習者用端末を活用し、プレゼンテーションを行う。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	